

第 59 回 水工学に関する夏期研修会



主催：公益社団法人 土木学会

期日：2024年8月29日（木）～8月30日（金）（A、Bコース並行開催）

本研修会は土木学会のCPD（継続教育）プログラムとして認定されています。

場所：大阪公立大学杉本キャンパス（対面）

Aコース（河川・水文）【行事コード：2324021】、Bコース（海岸・港湾）【行事コード：2324022】

テーマ：水工学に関するモニタリング技術と活用

■ 8月29日（木）

Aコース（河川・水文）		Bコース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	大石哲（神戸大学）：環境物理量の計量、計測から学へ至る道～大気中の水の観測を通じて～	山野貴司（東洋建設）：海岸・港湾における光ファイバを用いた現地計測技術	
10:45～ 12:15	宮田秀介（京都大学）：山地河川の土砂流出観測の現状と新しい計測手法	辻本剛三（熊本大学・大阪公大客員教授、神戸市立高専名誉教授）：砂粒子の探求：海岸工学への新たな視点	
13:15～ 14:45	二瓶泰雄（東京理科大学）：氾濫災害調査に関する現状やデータ活用法、将来の方向性		
15:00～ 16:30	赤松良久（山口大学）：環境DNA技術の活用と展開	比嘉紘士（横浜国立大学）：沿岸域における光学観測と海色衛星データ解析の応用	

■ 8月30日（金）

Aコース（河川・水文）		Bコース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	萬矢敦啓（土木研究所）：洪水時河道のデジタルツイン構築に向けた観測技術と今後の課題	高畠知行（近畿大学）：沿岸災害の調査－何を、どのように行うべきか？－	
10:45～ 12:15	山上路生（京都大学）：ボート型ロボットによる自動水理観測の試み	高山百合子（大成建設）：建設分野の生物モニタリングにおける環境DNA分析技術の活用および課題と展望	
13:15～ 14:45	伴野雅之（港湾空港技術研究所）：波崎海洋研究施設における長期地形モニタリングとその活用		
15:00～ 16:30	中川啓（長崎大学）：地下水のモニタリング－地下水の水質と水位	岡田輝久（電力中央研究所）：モニタリングを活かすデータ同化の考え方	

定員：対面講義（Aコース120名、Bコース120名）

受講料：一般16,000円、学生・院生10,000円

申込方法：土木学会ホームページ

Aコース：<https://www.jsce.or.jp/events/form/2324021>

Bコース：<https://www.jsce.or.jp/events/form/2324022>

問合せ：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：那須珠実）

備考：講義の変更等の最新情報に関しては下記のホームページをご覧ください

夏期研修会ホームページ：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/239>